



## 超勤縮減の切り札！校内で2学期制の論議を！！

### 校内論議はしていますか？

みなさんの学校では2学期制の論議をされているでしょうか。

11月1日の執行委員会で2学期制のことが話題になりました。教育委員会も2学期制については「超緊縮減につながる制度」として前向きに捉えているようです。北九州市小中学校等管理規則には次のように書かれています。



- 校長は、教育上必要があるときは、学年を分けて2学期とすることができる。この場合において、校長はあらかじめその理由及び期日を明らかにし、教育委員会の承認を受けなければならない。

### 勘違いしていませんか？



教職員や管理職の中には、「2学期制は、教育委員会が決めてくれるのでは？」と勘違いをしている職員がいるようです。上記の「北九州市小中学校等管理規則」にも書かれているように校長が2学期制にしたい「理由」と「期日」を明らかにしなければなりません。そのとき、校長が勝手に決めるわけにはいかないので、当然「校内論議が必要」となるわけです。

もう一つの勘違いは、「中学校区でまとまらないといけないのでは？」ということですが、**まとまる必要はありません**。多くの小学校が単独で「2学期制」を行っています。

**※中学校区でまとまる必要はありません！**

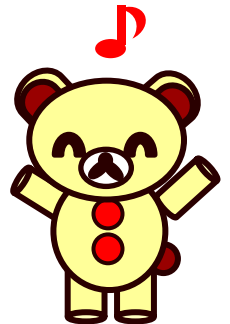
### 2023(R5)年度実施校

**【2021(R3)年度から実施し、2023(R5)年度も引き続き実施する学校】**

- ・篠崎中 ・泉台小 ・清水小 ・白銀中 ・到津小 ・井堀小 ・中井小
- ・西小倉小 ・南丘小 ・南小倉小 ・特別支援学校7校 ・中央高等学園

**【2023(R5)年度から実施する学校】**

- ・中央中 ・八幡小 ・日明小 ・穴生小 ・青山小 ・萩原小 ・医生丘小
- ・戸畑中央小 ・大里東小 ・萩が丘小 ・赤坂小



### メリットとデメリット (2022.11.9教育委員会「2学期制の効果等について」より引用)

**メリット**【時数確保】始業式等の時間削減で授業時数を確保できる。(6コマ程度)

【評価】適切に学習状況を評価し、個に応じた指導ができる。特に特別支援学校では、成長や変容を捉えやすく、個に応じた指導がしやすい。

【指導のゆとり】**通知表作成の回数が減ったことで、ゆとりをもって児童生徒と向き合う時間を確保できる。**

**デメリット**【動機付け】学習の動機付けに課題がある。(考査・通知表の回数減のため)

【保護者への説明】保護者が学校での学習や生活の様子が把握し難い。

【入試への対応】考査・評定と入試業務のスケジュールがずれているため、調整が必要。

私たちは、上記のデメリット以上の「超勤縮減効果」が2学期制にはあると考えています。もう一度各学校で「2学期制導入」の論議をしようではありませんか！そのための「知恵と勇気」が市教組にはあります。困ったときは相談にのりますので連絡してください。

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1  
E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp 北九州教育会館 TEL(093)953-0381

